

- 問1 大正時代に展開された社会運動のうち、平塚らいてうが関わった「青鞾社」と「新婦人協会」の関係性や活動の変化についての説明として、正しいものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 青鞾社は海外の女性参政権運動を日本に導入したが、新婦人協会はその活動が過激すぎたために政府によって解散させられた。

2. 青鞾社は政府の支援を受けて設立された公的な組織だったが、新婦人協会は労働者による社会主義的な革命を目的とした。

3. 青鞾社は男性のみで構成される支援団体だったが、新婦人協会になって初めて女性自身の参加が認められるようになった。

4. 青鞾社は文学を通じた女性の自己覚醒を主な目的としたが、新婦人協会は治安警察法第5条の改正など政治的な権利獲得を目的とした。
- 問2 第一次世界大戦後、国際協調の機運が高まる中で開催されたワシントン会議において、日本が中国への返還に合意した、ドイツから引き継いでいた権益を何とといいますか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 南満州の権益

2. 山東半島の権益

3. 遼東半島の権益

4. 朝鮮半島の権益
- 問3 第一次世界大戦中の日本において、都市部の労働者や農民の生活を圧迫し、1918年に米騒動が発生する最大の要因となった経済的状況について、正しい記述を選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 大戦の影響で海外からの安価な米の輸入が途絶えたため、国内産の米の価格を政府が意図的に引き上げた。

2. 好景気による物価上昇に賃金の伸びが追いつかず、さらにシベリア出兵を見越した買い占めで米の値段が暴騰した。

3. 欧米諸国への軍需品輸出が減少したことで不況となり、米の買い手がいなくなったため米価が暴落した。

4. 戦時中の食糧難を克服するために政府が米の強制買い上げを行い、農村部で激しい反対運動が起こった。
- 問4 1914年から1918年にかけての日本の経済状況において、輸出額が右肩上がりに激増し、日本郵船の貨物収入が数倍に跳ね上がるほどの空前の好景気となりました。この時期、造船業とともに飛躍的な発展を遂げ、日本が世界有数の規模を誇るまでになった産業はどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 精密機械工業

2. 石炭産業

3. 海運業

4. 自動車産業
- 問5 1917年にレーニンなどの指導によってロシア革命が起こり、労働者や兵士の代表会議である「ソビエト」が政権を握りました。この新しい政府の誕生に対し、社会主義の影響が自国へ及ぶことを恐れた日本やアメリカなどの列強諸国が、軍隊を派遣して干渉した出来事を何とといいますか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. 満州事変

2. シベリア出兵

3. 第一次上海事変

4. 柳条湖事件
- 問6 国際連盟における意思決定の仕組みや、その後の推移を説明した資料の内容として適切なものはどれか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本は発足時から常任理事国として貢献したが、満州事変後に国際社会から勧告を受けると加盟を辞退した。

2. 総会などの議決で全会一致を原則としていたため、紛争解決に向けた迅速な決定が難しかった。

3. 経済制裁だけでなく、国際連盟軍による強力な武力行使を行うことで世界の平和を維持した。

4. 安全保障理事会の常任理事国に強力な拒否権が与えられ、大国の合意なしには行動できなかった。
- 問7 1920年には全人口の約5.5%だった有権者数が、1928年には約20.1%へと4倍近くに急増しました。この変化をもたらした法律に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 満18歳以上の全ての国民に選挙権が与えられたが、同時に地租改正が行われた。

2. 婦人参政権が認められて女性も投票できるようになったが、同時に国家総動員法が成立した。

3. 普通選挙法が成立して納税制限がなくなったが、同時に社会主義を取り締まる治安維持法も成立した。

4. 納税額の制限が15円から3円に引き下げられたが、同時に警察予備隊が組織された。
- 問8 1914年の東京駅の完成に象徴されるような、全国的な鉄道網の整備と都市化が進展した大正時代の社会背景について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 明治政府による文明開化の政策が進められ、都市部ではレンガ造りの建物やガス灯が設置されるなど、急速に西洋化が進んだ。

2. 開国後の貿易の活発化により、横浜などの開港場を中心に洋食や洋服が庶民の間に広まり、伝統的な生活習慣が大きく塗り替えられた。

3. 都市部で働くサラリーマンなどの居住者が増加し、雑誌や映画が人気を集め、1925年にはラジオ放送も開始されるなど、大衆文化が広まった。

4. 高度経済成長期を背景に、都市部の一般家庭において電気冷蔵庫や洗濯機などの電化製品が普及し、生活様式が劇的に変化した。
- 問9 日清戦争後の下関条約から昭和初期の金融恐慌へと至る日本の近代化の過程では、民主主義を求める動きが強まりました。1925年に実現した、当時の選挙権の要件として正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. 満25歳以上の男子であり、直接国税を3円以上納めていること。

2. 満20歳以上の男女であり、納税額による制限がないこと。

3. 満25歳以上の男子であり、納税額による制限がないこと。

4. 満20歳以上の男子であり、直接国税を10円以上納めていること。
- 問10 第一次世界大戦の惨禍を反省し、1920年代を中心に展開された、国際連盟の設立やワシントン会議に見られるような平和を維持するための各国の協力体制を何と呼びますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 全体主義

2. 冷戦体制

3. 孤立主義

4. 国際協調
- 問11 第一次世界大戦の勃発に伴い、ヨーロッパ連合国からの軍需品などの注文が相次いだことによって、日本の輸出額が輸入額を大きく上回り発生した好景気を何と呼びますか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 特需景気

2. 大戦景気

3. バブル景気

4. 平成景気
- 問12 大正末期から昭和初期にかけて、丸の内ビルの建設や東京駅の開業を背景として発展した都市文化や、その時期に新しく登場した人々の生活様式としてふさわしいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 洋服を身にまとい、タイピストや電話交換手、バスの車掌といった職業婦人として社会に進出する女性が目立つようになった。

2. 日本初の鉄道が新橋・横浜間で開通したことをきっかけに、通勤圏が拡大し、丸の内周辺で働く公務員たちが「サラリーマン」と呼ばれるようになった。

3. 文明開化の影響により、散髪脱刀が奨励され、都市の街頭では牛鍋を囲む「はいから」な生活を求める人々が急増した。

4. 政府による富国強兵政策のもとで、官営の模範工場が全国に建設され、そこに寄宿舎生活を送る多くの女工たちが集まった。